

助成事業実施報告書

2025年4月21日

助成事業実施報告書

団体名 ハートの会
代表者・役職名 氏名 安藤真南

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ハート食堂

2. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度

毎月第3水曜日本牧地区センター調理室で1時より調理 テイクアウトにて提供
① 調理室20食位 4:00~4:45 ②大里町メゾン悠50食位 5:00~6:00
未就学児~高校生 1人親世帯・孤食・独居老人等 子供 100円 大人 300円
8月おにぎり作り体験会 無料にて
2月横浜インターナショナルスクール小学2年生「子供食堂について」の授業

3. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度

「結果」

ボランティアの人手不足で実施回数増やせず
調理室の調理器具、作業時間等の制約の中、80食位が限界
利用者は増えてきているが本当に必要な人に情報が伝わっていないと感じる

「成果」

テイクアウトなので親しく接する機会がないが、皆さん楽しみにしていて下さり“おいしいです”“助かります”等のお声を頂けている

「社会的変化」

横浜インターナショナルスクールが授業の一環として参加。外国人をはじめての地域の親睦をさせて頂だけている。

ポスターを見てボランティアとして参加して下さる方・米をご寄付下さる方が増えてきている

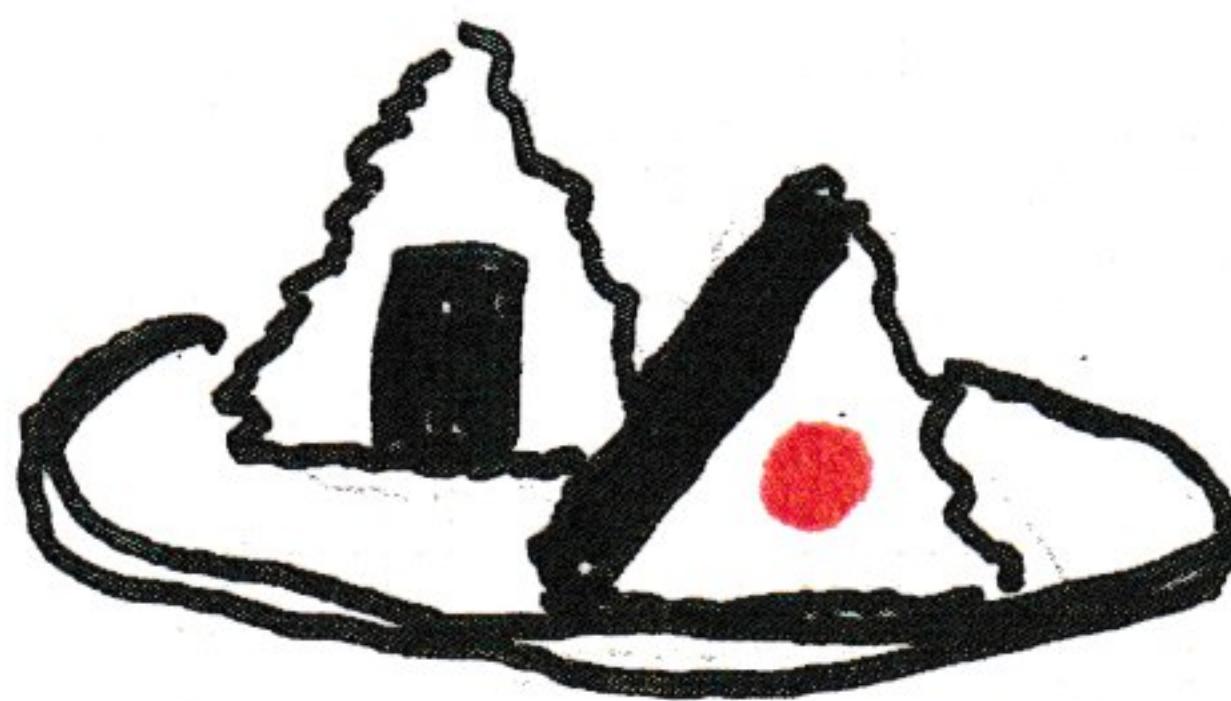
4. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字程度

情報を伝える手段がむずかしい 家庭庁より1人親支援として“米”を頂く。地域の幼稚園・学校・担当の役所等へポスター持参して協力を願いにいくが、ポスターは貼らせて頂けても積極的に協力して頂けなかった。
(ef 必要な人に知らせるとか) 町内の掲示板の掲載も連合町内会長にお願いにいくが許可おりず。
。子供食堂=生活困窮者という印象があり、そこに行くと子供がいじめにあうという事で みんなの食堂としたら大人食堂になってきているところがある
。ボランティアが長続きせず人手不足で撤退した所(中区で2ヶ所)がでてきている
◎情報が広く伝わるように地域の新聞社、スーパー等に協力を願う

5. 参考資料

プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等のデータ。活動の様子がわかる写真などを必ず別途ご提供ください

子供食堂



“おにぎり作り 体験会”

好きな素材を選んで自分で作る
みんなでランチしましょ！

8月7日(木) 11:00～12:45
(当日 10:45～受付)

場所： 本牧地区センター調理室

対象： 小・中学生 30名 当日先着順

費用： 無料

持ち物： エプロン、パンダナ(大きめのハンカチ等)
マスク、タオル、上着(おはし、お椀)

主催 ハートの会 電話 090-4715-5606 安藤

助成金 真加苑助成事業
かなとも募金助成金

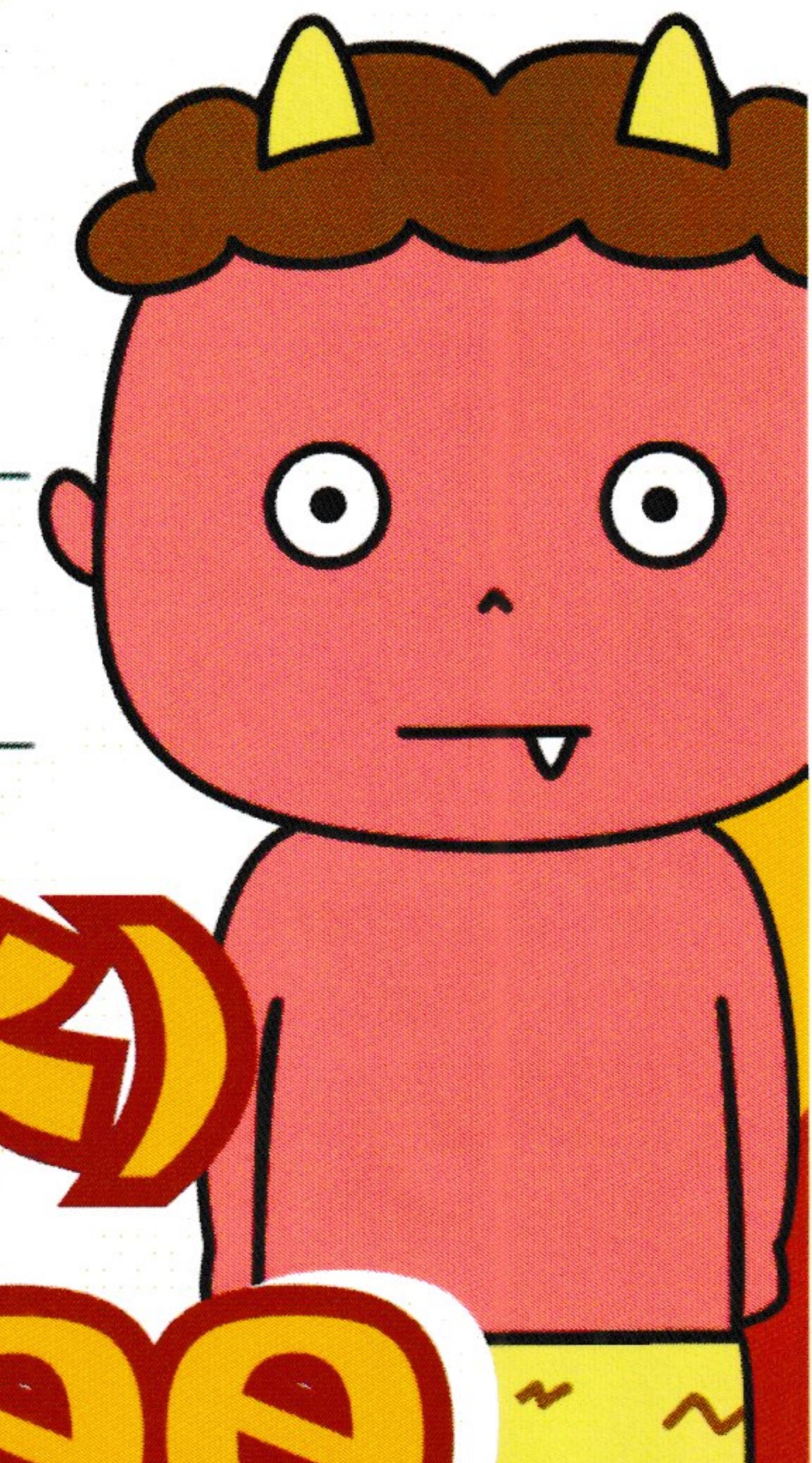
カレーライス お持ち帰り

子ども食堂

メゾン悠



子供100円!



2月19日(木)
17:00~18:00

(無くなり次第終了)

主催: ハートの会
090-4715-5606
助成金: 真如苑助成事業
かなとも募金助成金

